



あなたと博物館

HIRA TSUKA CITY MUSEUM

'99 3月号

春期特別展 「暮らしの中の鉱物—鉱物とその利用—」

私たちの暮らしの中には様々な鉱物が形を変えていろいろ利用されています。例えば、身の回りを見わたしても、宝石をはじめ、鉛筆の芯・ガラス・陶磁器・貨幣など様々なものが思い浮かぶでしょう。鉄や銅などの金属は必要不可欠のものです。今回の特別展では、私たちの生活になくてはならない元素を供給している鉱石（鉱物）を取り上げ、鉱物の諸性質や特徴を、暮らしの中の生活用品と関係づけて展示紹介します。鉱物の美しさや結晶の形を見ながら、私たちの生活とどのように結びついているのかを見て下さい。

会場：平塚市博物館 特別展示室

会期：平成11年3月11日（木）～4月11日（日）

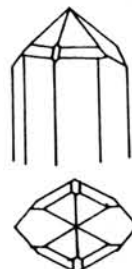
休館日：毎週月曜日

開館時間：9時～17時（但し金曜日は9時～19時）

■特別展関連行事 野外観察会：「県内初の銅鉱物を見よう」

4月4日（日） 9時～15時 往復葉書申込制 定員40名

参加ご希望の方は3月20日迄に氏名・住所・電話・年齢を明記の上、往復葉書で博物館迄お申し込み下さい。



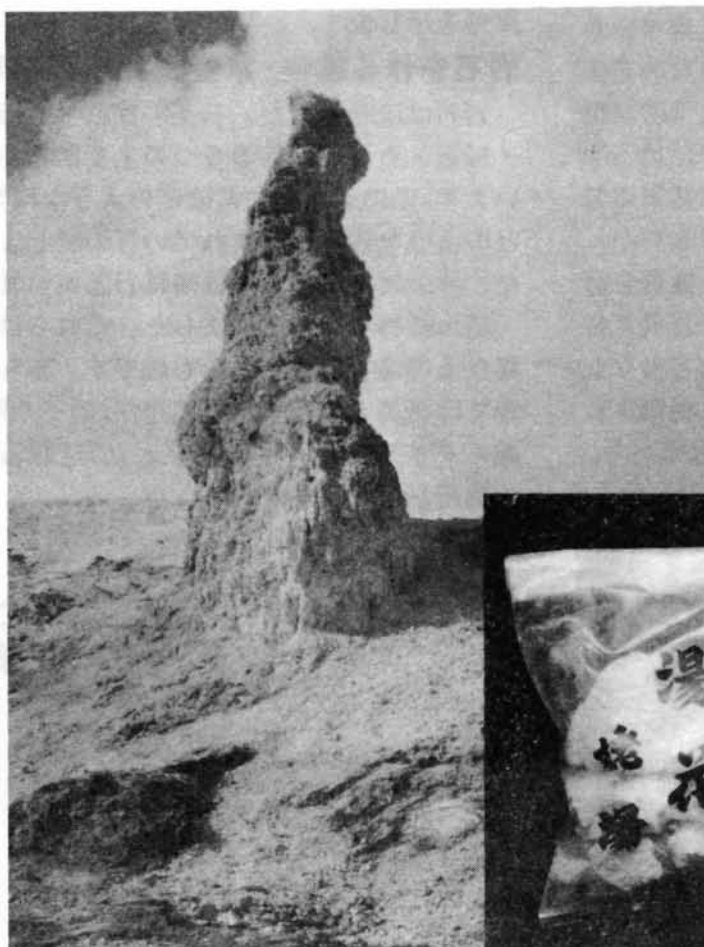
トパーズ



石膏



水晶



硫黄の塔と湯ノ華

春期特別展「暮らしの中の鉱物－鉱物とその利用－」

今回の特別展では以下のような内容を展示します。

- I. 宝石と鉱物：誕生石・ガーネット・水晶・ダイヤモンドと石墨・エメラルドとアクアマリン・ルビーとサファイア・ひすい・トルマリン・トパーズ・トルコ石
- II. 鉱物の種類と性質：鉱物の分類と特徴・鉱物の形・鉱物の硬さ・蛍光現象・複屈折と光ファイバー現象・劈開・磁性・電導性
- III. 金属鉱物のいろいろ：マンガン鉱石・鉄鉱石・銅鉱石・金と銀鉱石・亜鉛鉱石・アルミニウム鉱石・砒素と水銀・タングステン鉱とコバルト鉱・合金・アルカリ金属元素等
- IV. 造岩鉱物と非金属鉱物：石英の仲間・長石の仲間・雲母の仲間・角閃石の仲間・輝石の仲間・カンラン石の仲間・ハロゲン鉱物・燐と硫黄・沸石の仲間・粘土鉱物・顔料

宝石と鉱物

暮らしに関わる鉱物として最も身近なものに宝石や貴石があります。宝石は指輪やネックレス等の装身具に古代から使われてきました。宝石は鉱物の中でも特に透明度や光沢に優れ、産出が稀であることが必要です。ルビーとサファイア、エメラルドとアクアマリンなどは鉱物としては同種の鉱物で、含有される元素により色が異なるので宝石では区別されます。ここでは誕生石となっている宝石であるガーネット・水晶・ダイヤモンド・ベリル・ひすい等の鉱物について紹介します。

鉱物の種類と性質

鉱物は自然金や自然硫黄など一つの元素単体からなる鉱物もありますが、ほとんどは複数の元素の化合物になっています。鉱物はこの化学的な化合の仕方により分類・区分され、日本では約 900 種類が知られています。ダイヤモンドと鉛筆の芯になる石墨とは全く同一の炭素からなりますが、結晶の内部構造が異なるため全く違った性質を持ちます。金属には電気を伝えやすいもの、薄く延びる性質のあるもの、磁性のあるものなど様々な性質があり、その特性を生かして生活に利用されています。ここでは、鉱物の結晶の形やおいたち、鉱物の種類と性質について紹介します。



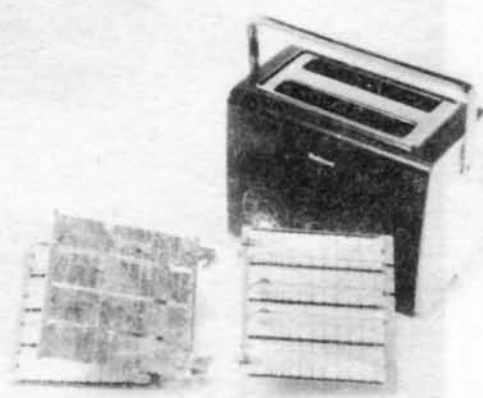
方解石の結晶

金属鉱物のいろいろ

金属元素は 81 種類あり、我々の生活になくてはならないものです。金属鉱石には鉄鉱石・銅鉱石・マンガン鉱石・鉛鉱石・金銀鉱石・アルミニウム鉱石などがあり、地下資源として重要な役目を持っています。複数の金属を混ぜて合金にすると、優れた特性をもつので、単体での利用よりも合金としての利用がきわめて盛んです。最も大量に使われる鉄は縞状鉄鉱床と呼ばれる堆積鉄床から採掘され、製鉄により鋼が作られます。この鋼も微量な炭素を含む合金です。ここでは、各元素ごとに金属鉱物の種類を紹介し、その生活への利用例を示します。

岩石を作る鉱物・非金属元素の鉱物

岩石はほとんどが、石英・長石・雲母・角閃石・輝石・カンラン石の 6 つの主要鉱物からできています。この造岩鉱物にはどのような種類があり、どのような岩石に含まれているのでしょうか。また、非金属元素としては燐鉱石と硫黄鉱物、沸石・粘土鉱物を取り上げました。それらはそれぞれ異なる環境で形成されたものです。暮らしとの関連では石英・長石・粘土鉱物が、硝子や陶磁器(茶碗・タイル・土管・煉瓦など)の珪酸塩工業に広く利用されています。



トースターの絶縁に使われている白雲母

「平塚の空襲と戦災を記録する会」会員が

空襲による犠牲者の調査を開始

記録編の調査が本格化しました

昭和20年7月16日、米軍B29爆撃機により受けた平塚空襲の実態を把握するため、博物館では、「平塚の空襲と戦災を記録する会」の会員の皆様方と平成元年より調査を進め、その結果を冊子にまとめる活動を行っております。その第一巻目が昨年、「市民が探る平塚空襲―証言編―」として刊行されました。

第一巻目の刊行後、「市民が探る平塚空襲―記録編―」の編集に入りました。この記録編の一部記録として、空襲による犠牲者(死者)の記録を取り上げたいと考えております。空襲による犠牲者は現在、200名とも300名ともいわれ、その実数すら定かではありません。この機会に、亡くなられた方の実数と、どこで、どのようにして亡くなられたのかなどを聞き取りにより調査してまいりたいと考えております。

犠牲になられた方を知っている。あるいは、私の父母が、祖父母が、兄弟・姉妹が、親戚が犠牲になったとの情報と聞き取り調査への協力をお願いいたします。

連絡先 平塚市博物館内「平塚の空襲と戦災を記録する会」

TEL 0463-33-5111へ

●その時あなたは・・・月着陸から30年

市民のみなさんから、その時の思い出を募集し、プラネタリウム番組でご紹介します。



月に降り立つオールドリン宇宙飛行士

30年前、人類は月に降り立ちました。地球以外の星にはじめて踏み出しました。1969年7月21日のことです。その時、世界中がその偉業にわきたちました。

あなたは、どこでそのニュースを見たり聞いたりされ、どんな思いをもたれたか、お聞かせください。市民のみなさんからの思い出を募集します。当時なにをされていたか、小学生だったとか、勤めていた、など。どこで、どんなふうに月着陸を見たり聞いたりしていたか。その時の感想や、30年も経ったことをどのように感じられるか、をお書き下さい。また、当時まだ生まれていなかった方も、月に人間が行ったことを知ったときの感想をお聞かせ下さい。

応募方法

●博物館にある用紙に記入されるか、住所・氏名・年齢をお書きそえのうえ、ハガキ、ファックス、E-MAILでもお寄せ下さい。

宛先 〒254-0041 平塚市浅間町12-41

平塚市博物館 天文担当宛

FAX 31-3949

E-MAIL pro1049@certi.proside.ne.jp

〆切は4月15日とさせていただきます

博物館カレンダー

3月の行事予定

5	金	古文書講読会	講 堂
7	日	民俗探訪会「東山北駅～山北駅」	山北町
10	水	地質調査会	特研究室
11	木	石仏を調べる会 ☆ 特別展「暮らしの中の鉱物展」 (～4月11日)	特研究室 特展室
12	金	古文書講読会	講 堂
13	土	◎ 漂着物を拾う会 ☆ プラネタリウム「彗星が海を作った」 (～5月2日)	海 岸 プラネタリウム室
14	日	地質調査会	野 外
17	水	裏打ちの会	科学室
19	金	◎ 古文書講読会 ◎ 星を見る会「春の星を見よう」	講 堂 屋 上
20	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 古代遺跡を探す会 地質調査会	特研究室 館 内 科学室
24	水	地質調査会	科学室
25	木	石仏を調べる会	特研究室
26	金	◎ 古文書講読会 ◎ 体験学習「簡易スペクトル分光器」	講 堂 科学室
27	土	天体観察会「まとめ」	博物館
28	日	相模川の生い立ちを探る会	大 山

◎は参加自由 ○は申し込み制 他は会員制

●春期特別展

「暮らしの中の鉱物—鉱物とその利用—」

美しい鉱物の数々を展示し、それらがその性質や特徴により、どんな生活用品に利用されているのかを紹介します。

会期：3月11日(木)～4月11日(日)

☆関連行事「県内初産の自然銅を見よう」

日時：4月4日(日) 午前9時～午後3時

●寄贈品コーナー「しし座流星群展」

11月17日から18日にかけて現れたしし座流星群の結果などを展示します。

会期：3月31日(水)まで

●プラネタリウム

「虹・太陽の光」

投影日時：3月6日(土)、7日(日)の11時と14時

「彗星が海を作った」

地球の海が誕生した成因の一つはほうき星であるという説を紹介します。

期間：3月13日(土)～5月2日(日)

投影日時：土日曜日の11時と14時

観覧料：100円

4月の行事予定

1	木	☆ 寄贈品コーナー「人文新資料展」 (～4月29日)	展示室
2	金	古文書講読会	講 堂
8	木	石仏を調べる会	特研究室
9	金	古文書講読会	講 堂
11	日	民俗探訪会「説明会」 ◎ 地質調査会 ◎ こども観察会「春の海」	講 堂 野 外 海 岸
14	水	裏打ちの会 地質調査会 天体観察会「ガイダンス」	科学室 特研究室 科学室
16	金	古文書講読会	講 堂
17	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 地質調査会	特研究室 特研究室
18	日	◎ 体験学習「家紋風を作ろう」 ◎ 古代遺跡を探す会 ◎ ろばたばなし	科学室 野 外 展示室
22	木	石仏を調べる会	特研究室
23	金	◎ 古文書講読会 ◎ 星を見る会「月を見よう」	講 堂 屋 上
25	日	相模川の生い立ちを探る会	三浦市

参加者募集

●体験学習「簡易スペクトル分光器を作ろう」

簡易スペクトル分光器を組み立てて、太陽の光、電灯の光、炎や金属元素の光などを観察します。

日時：3月26日(金) 13時～16時

場所：博物館 定員：20名

〆切：3月12日

●こども観察会「春の海を訪ねよう」

漂着物や海岸に生える植物を観察します。

日時：4月11日(日) 午後1時～4時

場所：平塚海岸

〆切：3月末日

●体験学習「家紋風を作ろう」

横内家紋風保存会の指導で、角風を作ります。

日時：4月16日(日) 午前10時～午後4時30分

場所：博物館科学教室 材料費：500円

〆切：4月10日

＝上記の行事の申込方法＝

往復ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、博物館各係へ。

●漂着物を拾う会

海岸へ流れ着いた生物や人工物を拾って調べます

日時：3月13日(土) 午前9時30分～11時

集合：花水川橋平塚側もとと記念碑前

参加：自由(雨天中止)

●星を見る会「春の星を見よう」

日時：3月19日(金) 午後7時～8時30分

場所：博物館屋上(1階科学教室へ集合)

参加：自由 *曇天時中止

あなたと博物館 23巻12号通巻266号 発行 平塚市博物館 3000
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel. 0463-33-5111 Fax. 31-3949

平成11年度 年間会員募集

年間会員制の行事は、1年を通して参加できる方を募集します。

平塚の空襲と戦災を記録する会

平塚空襲に関する資料の収集や聞き取り調査、戦災地図作成などを行い、『戦災誌』を発行します。

日時：毎月第3土曜日の13時30分～17時

場所：博物館特別研究室

天体観察会

流星群や月食など天文現象の観察や天文台の見学を通して、天体観察の知識と技術を学びます。

日時：月1回、主に土曜日の夜間

場所：博物館屋上、函南月光天文台など

募集：中学生以上30名程度（18才未満の方はがきに保護者名を書き添えてください）

4月24日：ガイダンス、5月8、9日：火星観測、6月19日：惑星の動き・金星・太陽、7月28日：金星・部分日食、8月1日、7日：スターウォッチング、8月12日、13日：ペルセウス座流星群、9月11日：太陽黒点、10月16日：今夜の現象よりどりみどり、11月14日：しし群説明会、12月18日：月、木星、土星、変光星、1月29日、30日：スターウォッチング、2月12日：カノーブスを見よう、3月18日：まとめ

古代遺跡を探す会

遺跡の表面採集を通して考古学に関する知識を学ぶとともに、分科会では土器や石器を作って煮炊きする実験なども行っています。

日時：毎月1回日曜日の午前10時～午後3時

場所：野外（雨天時は科学教室）

募集：20名

4月18日、5月30日、6月27日、7月25日、8月22日、9月19日、10月24日、11月21日、12月19日、1月23日、2月27日、3月26日

相模川の生い立ちを探る会

丹沢山地など相模川流域各地を歩きながら、地形や地質を観察し、人々の生活とのつながりを考えます。会誌「グリーンタフ」を発行します。

日時：月1回、主に日曜日の9時～16時

場所：野外

募集：20名

4月25日：三浦の地層、5月23日：大理石と変成鉱物、6月20日：西丹沢の変成岩、7月17日：お中道と大沢崩れ、8月29日：富士の溶岩と忍野八海、9月26日：金時山と溶岩、10

月23日：神山と大湧谷、11月28日：東丹沢のグリーンタフ、12月18日：鷹取山の地層、1月30日：小仏山地の地層、2月18日：温泉地学研究所と地球博物館、3月25日：凝灰岩と玉葱

民俗探訪会

11年度は「西相模を歩く」というテーマのもと、足柄上郡下郡を歩き、道祖神や石仏、年中行事など暮らしに根付いた文化を調べます。

日時：毎月1回日曜日の午前10時～午後4時

場所：野外（雨天時は講堂）

募集：20名程度

4月11日、5月2日、6月13日、7月11日、8月8日、9月5日、10月3日、11月7日、12月6日、1月9日、2月6日、3月5日

古文書講読会

平塚市の近世文書の解読を通し、地域の歴史を学びます。

日時：毎週金曜日の10時～16時

場所：博物館講堂

募集：20名

裏打ちの会

古文書の裏打ちの技術を学び、実際に博物館資料の裏打ちを行うボランティアの会です。

日時：毎月第3水曜日の10時～15時

場所：博物館科学教室

募集：5名

漂着物を拾う会

平塚海岸に打ち上げられる生き物や人工物を収拾して調べ、海の環境を考えます。

日時：奇数月第2土曜日の9時30分～11時

場所：平塚海岸（花水川橋平塚側たもとに集合）

募集：30名（準会員制）

展示解説ボランティアの会

博物館1階2階常設展示の展示解説をしてくださる方を募集します。

日時：平日（火～金曜日）で可能な日

場所：常設展示室

募集：20名

◆申込先◆

往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、希望する会宛にお送りください。

〒254-0041 平塚市浅間町12-41

平塚市博物館「〇〇〇」係へ

*申込〆切：いずれも3月末日まで

平塚市博物館
平成11年度 行事案内

詳細はその都度、本紙や広報ひらつかでお知らせします。なお、内容日時等は一部変更する場合があります。

＝展示とプラネタリウム＝

●特別展

<夏>丘陵の四季 : 7月18日～8月29日
<秋>相模の道祖神 : 10月9日～11月21日
<冬>博物館祭 : 2月8日～13日
<春>すばるが拓く宇宙 : 3月11日～4月9日

●寄贈品コーナー

人文部門新資料展 : 4月1日～29日
自然部門新資料展 : 5月1日～6月6日
平塚の空襲と戦災展 : 6月18日～7月30日
天文部門 : 8月1日～9月11日
博物館実習生の展示 : 9月16日～10月31日
平塚の石仏展 : 11月2日～11月28日
街の中の石材 : 12月1日～12月27日
遺跡展 : 1月5日～2月13日
生物部門 : 2月15日～3月30日

●プラネタリウム

ヘラクレスの冒険 : 5月8日～6月6日
そのときあなたは？アポロ月着陸から30年 : 6月19日～7月11日
さよならお月さま : 7月18日～9月6日
流星雨の降る夜 : 9月11日～11月7日
しし座流星群説明会 : 11月13日～11月14日
惑星の動き : 11月20日～1月9日
二千年紀、人類の夢 : 1月15日～2月27日
全天88星座 : 3月4日～4月23日

＝申込制の行事＝

●体験学習

家紋風を作ろう : 4月18日
縄文土器を作ろう : 8月4、5、6、24日
地形模型を作ろう : 8月24、26、27日
お飾りを作ろう : 12月
竹籠を編もう : 2月

●自然観察会

四季折々の身近な自然を訪ねる会です。
総合公園を歩く : 5月15日
高麗山 : 7月24日
鳴く虫を聞く : 9月12日
丹沢湖 : 1月16日

●こども観察会

小中学生とその保護者対象の自然観察会です。
春の海を訪ねよう（海岸） : 4月11日
アオバトを見よう（大磯照ヶ崎） : 6月26日
川の姿を見よう（金目川） : 8月1日
川を歩こう（相模川） : 10月2日
落ち葉で遊ぼう（総合公園） : 12月4日

●自然観察ゼミナール

「鳥のねぐら入門」を講義と観察で行います。
期日 : 11月6日、11月14日、12月18日

●みんなで調べよう

「カタツムリを調べよう」をテーマに行います。
期日 : 5月29日、6月6日、7月4日

●自然観察入門講座

「街の石材」を調べます。
期日 : 7月29、30日

●考古学入門講座

「土器の編年」をテーマに4回連続で開催します。
縄文時代 : 10月16日
弥生時代 : 10月30日
古墳時代 : 11月13日
奈良・平安時代 : 11月27日

＝自由参加行事＝

●星を見る会

今年度は月の観察を中心に活動します。
期日 : 4月23日、5月21日、7月28日、8月19日、10月22日、11月26日
時間 : 19時～20時30分
場所 : 屋上（科学教室に集合）

●ろばたばなし

平塚の伝説や日本の昔話を民家内で語ります。
期日 : 毎月第3日曜日
時間 : 13時30分～14時、15時～15時30分の2回

●自由研究相談会

自由研究の相談に博物館職員が応じます。
期日 : 7月23日、8月25日
時間 : 9時～12時

●漂着物を拾う会（年間会員募集の記事参照）

◆休館日 : 毎週月曜日、月末日（特展開催中は開館）、月曜祝日時の月、火曜日、6月8日～17日（全館薫蒸のため）、年末年始